

# 一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2016年5月）議事録

日時：2016年5月20日（金）午後6時00分～7時30分

場所：AP東京丸ノ内 Fルーム

議長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登、西平賀昭、永富良一、碓井外幸、小野寺昇、甲斐裕子、勝村俊仁、川原 貴、後藤勝正、坂本静男、下光輝一、須田和裕、武政 徹、竹森 重、田中喜代次、田畑 泉、成田和穂、宮地元彦、山内秀樹（各理事）、井上 茂、清田 寛、小林康孝、定本朋子（各監事）、

田島文博（第70回大会長・和歌山）、

山本直史（第72回大会長代理・愛媛）

欠席者：大野 誠、栗原 敏、内藤久士、西牟田守、

能勢 博、浜岡隆文（各理事）、

立身政信（第71回大会長・岩手）

## 【審議事項】

### 1. 前回議事録の承認

理事会開催中に各自で議事要旨の内容確認を行い、訂正等がある場合は申し出ていただくこととし、理事会終了後に承認とすることとした。

### 2. 日本体力医学会健康科学アドバイザー新規申請者について（碓井称号委員長）

日本体力医学会健康科学アドバイザーの新規申請者2名の氏名リストが提示され、承認された。

### 3. 平成28年度決算見込みについて（勝村財務委員長）

資料に基づき、平成28年度決算見込みについて報告があり、正式な決算は8月の理事会で報告予定であると説明された。

### 4. 平成29年度予算案について（勝村財務委員長）

資料に基づき、法人4期目（2016年8月1日～）となる平成29年度予算案について報告があり、赤字体質の財政が改善出来ていないため、7月中に関係役員で費用削減や収入増加の方法について検討する予算会議を設け、次回8月理事会にて改善した予算を提案する予定であると説明があり、継続審議となった。

### 5. 平成29年度事業計画案について（武政総務委員長）

資料に基づき、平成29年度事業計画案について報告があり、審議の結果、承認され、9月の社員総会に諮ることとした。

### 6. 学会賞について

（浜岡学会賞選考委員長代理鈴木理事長）

学会賞選考委員会からの提出資料に基づき、審査経過ならびに審査結果が報告された。5月13日に開催された委員会において、学会賞（体力科学）については、学会誌のさらなるレベルアップによる学会の活性化を呼びかける強いメッセージとして授賞を見送る事にした点および学会賞（JPFMSM）、奨励賞については、下記2編の論文を各学会賞に選考したことが報告され、

承認された。

## 【学会賞（JPFMSM）】

◎「Pre-exercise casein peptide supplementation enhances endurance training-induced mitochondrial enzyme activity in slow twitch muscle, but not fast twitch muscle of high fat diet-fed mice」(4巻5号) Yutaka Matsunaga, Yuki Tamura, Yumiko Takahashi, Hiroyuki Masuda, Daisuke Hoshino, Yu Kitaoaka, Noriko Saito, Hirohiko Nakamura, Yasuhiro Takeda and Hideo Hatta

## 【奨励賞】

◎「小中学生における2年間の運動状況と踵骨超音波骨量指標の縦断的検討」(体力科学64巻1号) 山北満哉, 佐藤美理, 安藤大輔, 鈴木孝太, 山縣然太郎

### 7. 第6回国際スポーツ医科学ネットワークフォーラム長野2016の後援名義について（鈴木理事長）

信州大学より、第6回国際スポーツ医科学ネットワークフォーラム長野2016の後援名義の依頼文書が届いたことが報告された。依頼内容を確認した所、特に問題は見当たらないため後援名義を許可することが、承認された。

### 8. 医学教育のカリキュラム共同提案について（鈴木理事長）

日本臨床栄養学会より、医学教育のカリキュラム共同提案についての依頼文書が届いたと報告があった。依頼内容は栄養学カリキュラム案について賛同するかしないかが求められており、審議の結果、現状の内容全てに賛同できるものではないため、見送ることとした。

### 9. その他

#### 1) 日本生理学会での他学会連携委員の推薦について（鈴木理事長）

日本生理学会より、他学会連携委員の推薦依頼があり、和気秀文会員（順天堂大学）を推薦することが提案され、審議の結果、承認された。

#### 2) 熊本地震の対応について（鈴木理事長）

東日本大震災の時に、学会HP上でお見舞い文および被災対象地域に在住の会員の会費を免除したこと等、過去の経緯の説明があり、今回の熊本地震の対応についても学会HP上で同じくお見舞い文の掲載および被災対象の会員から申請があった際は、会費免除するということが提案され、審議の結果、承認された。

#### 3) 茨城大会について（武政総務委員長）

総務委員会より第74回茨城大会の大会長候補者として、「田中喜代次先生（筑波大学・教授）」を社員総会に推薦したい、との提案がなされ承認された。

## 【報告事項】

### 1. 各種委員会報告

- 1) 総務委員会（武政委員長）
  - ・資料に基づき、賛助会員の（株）ブルボンから退会届が提出されたことが報告された。
  - ・資料に基づき、4月17日に碓井非常務理事とともに福井大会に視察に行き、実行委員会が決まったことが報告された。
- 2) 編集委員会（田中委員長、後藤副委員長）

編集委員会報告として配布資料が配られ、以下の通り報告された。

  - ・投稿状況  
「JPFMSM」誌：新規投稿29編（内海外6編）  
※前年同期間：新規投稿18編（内海外3編）  
（採択＝6編、審査中＝7編、不採択＝15編、※受付不可1編）  
※海外：マレーシア、中国、スペイン、トルコ、ブラジル、ベルギー（海外は全て不採択となっている。）  
「体力科学」誌：新規投稿32編  
※前年同期間：新規投稿41編  
（採択＝12編、審査中＝9編、不採択＝11編）
  - ・掲載予定  
「JPFMSM」誌  
○Vol. 5, No. 2（2016年5月25日発行）  
Invited Reviews 6編、Short Reviews 2編、Regular Articles 2編  
5/14(土)、J-STAGE公開。5/17(火)、ジャーナル発刊情報メール配信。5/31(火)、冊子発送完了予定。  
「体力科学」誌  
○Vol. 65, No. 3（2016年6月1日発行）  
依頼総説2編、原著4編、教育講座1編  
5/14(土)、J-STAGE公開。5/31(火)、冊子発送完了予定。
  - ・その他
    - 1) 「JPFMSM」誌、投稿規定改訂について  
Article Typeに[Case Reports]を追加（編集委員会【メール審議中】）。
    - 2) 検討事項  
「Invited Review articles and Short Review articles (2017 Vol. 6)」について  
（Vol. 5については、4月中に決定、5月にHPに掲載している。）
  - ・商業目的の著作権料について  
ある企業から掲載された論文の製品に関連する、別刷りを印刷して、学会等で配布したいとの依頼があったことが報告された。これについて理事会で審議した結果、まずは他学会の動向を利益相反委員会で調査し、その情報を基に8月の理事会で方針を決めることとなった。
  - ・他誌で論文が掲載されている未発表の演題について  
岩手大会に演題登録した会員から、他誌で既に論文投稿済みの内容を発表したいと申し出があっ

たことが報告された（発表については未発表）。これについて理事会で審議した結果、既に論文投稿した雑誌社に了承を得て、かつ岩手大会長にも了承を得られた場合、発表を可能とするということと連絡することとした。

### 3) 学術委員会

- ・スポーツ医学研修会実行委員会（山内委員長）  
今年のスポーツ医学研修会も参加人数が20名を超え開催する方向で進めていること、応用コースのプログラムに研究計画の作成と遂行に関するQ&Aを加えたことが報告された。

### 4) 渉外委員会（永富委員長）

- ・国際交流事業の見直しを検討し、過去1年間で発表された抄録と報告を提出してもらい、審査委員会で審査し、賞金という形で進めるとの報告があった。
- ・国際学術交流として、大会時に著名な先生をエコノミークラスの旅費を予算として招聘することを検討していると報告された。
- ・プレオリンピックコンgresについて、2019年に日本体育学会が中心で動いており、関連学会に打診が来る可能性があるかと報告された。

### 5) 倫理委員会（成田委員長）

- 現在研究倫理審査規程および申請書のひな形を作成中であると報告された。

### 6) 広報委員会（甲斐委員長）

- HPアクセス解析ツールを導入して、現在情報を集めている最中であり、8月の理事会にその結果を報告する予定であるとの説明がなされた。

### 7) 男女共同参画推進委員会（田畑委員長）

- 学会大会前日に委員会を開催し方向性を決める予定と報告された。

## 2. 第70回（和歌山）大会報告について

### （田島第70回大会長）

資料に基づき、大会収支決算について報告があり、黒字決算とはならなかったが、赤字部分については同門会で補てんする予定であると報告された。

また、マイナンバー制度が始まるため、大会運営に余計な費用が掛かってくる可能性があることが報告された。

## 3. 第71回大会（岩手）の準備状況について

### （永富第71回大会副会長）

大会の準備状況等について報告があった。

会期：2016年9月23日(金)－25日(日)

会場：マリオス、アイーナ

## 4. 第72回大会（愛媛）の準備状況について

### （山本第72回大会長代理）

大会の準備状況等について報告があった。

会期：2017年9月16日(土)－18日(月)

会場：愛媛大学城北キャンパス、  
松山大学文京キャンパス